

16～21mm厚品 EX S	下地・工法	留付方法	張り方向	胴縁組
	S造 (ALC厚100mm挿入筋・ロッキング) 木胴縁工法	金具	横	縦胴縁@606mm以下

1) 基本構成図

1. 5尺×6尺

- ALC用アンカー・ビスの設定は物件ごとに既存壁に対するアンカー・ビスの引っ張り荷重確認を行い決定します。
- 下地外壁材にひび割れなどがいないか確認し、必要に応じて補修を行います。
- 木胴縁は606mm以下の間隔で、ALC端部から150mm以上離して取り付けます。
- (左右接合部)・入隅部・出隅部・開口部まわりなどには必要に応じて倍幅90mm以上の木胴縁を使用します。
- ALCパネル上下ジョイント部は縦胴縁を通さずに、縁を切ります。
- モエン6尺品を連続して施工する場合、製品長さ(1820mm)と、ALCの製品幅(例:600mm)の違いにより、ALC端部から胴縁までの位置がズレていきます。胴縁位置(アンカー位置)がALC端部から150mm未満になる場合は、150mm以上離れた位置に倍幅90mmの木胴縁を施工し、シーリング目地を設けてください。

ALC用アンカーはさみ固定式が躯体・内装材に干渉する場合は、ALC用アンカーねじ込みで施工します。

